

第1回既卒生（平成27年卒業生）激励会

「頑張れ！ 舟入高校既卒生」

3月26日（木曜日）に「第1回既卒生激励会」を行いました。今春卒業した3年生52名が出席しました。田中教頭からの激励や、今年大学合格を果たした昨年の卒業生の体験談やアドバイスに耳を傾け、1年後の「捲土重来」を誓いました。

- ① 管理職からの激励のことば（田中教頭）
- ② 進路指導主事からの話
- ③ 昨年度卒業生の話（5名）
- ④ 旧担任との面談



広島市立舟入高等学校

第1回
既卒生激励会



【5名の先輩からのアドバイスより】

① 京都大学 法学部 合格のA君

- ・問題集は繰り返し何周もやった。現役の時は、漠然と範囲を決めてやっていただけだった。丁寧に徹底的にやるのが大切だ。
- ・模試の判定もよく、まじめにやっていた人でも落ちるのが入試だ。普通の実力の者であればなおさらまじめにやるしかない。5、6月になって、恋愛に溺れ成績が下降する人が周りにいた。

② 北海道大学 総合入試理系 合格のBさん

- ・高校生活は与えられてきたばかりだが、大学生活はすべて自分から求めていかないといけない。高校と大学の間に位置するこれからの1年間は、自分で考え、自己を成長させるよい時間になる。他人の学習方法は参考にはなるが、そのまま鵜呑みにしてやっても成功しない。自分に合ったものを考え見つけてほしい。4、5月で自分の学習方法を確立させることだ。

③ 大阪大学 人間科学部 合格のC君

- ・浪人したのだから、〇〇大学なら合格できるだろうと思っただけではいけない。落ちる者は落ちるとまず肝に銘じることが、再チャレンジの心構えだ。
- ・英単語について、第一義の意味だけでは、センター試験には何とか対応できても、二次試験には通用しない。二義的意味、三義的意味を覚えていかななくてはならない。
- ・数学の典型題については、なぜそう解くのかという本質的レベルにまで遡って解くことで様々な問題を解くときに役立つようになる。
- ・国語では、センター試験の解答を自分の言葉で書くようにすると記述力の養成も合わせてできる。

④ 筑波大学 社会・国際学群 合格のDさん

- ・不合格を、学校のせい、家族のせいにしたくなるかもしれないが、予備校に入学してみると、舟入高校での学校生活、授業の質など恵まれていたことに気づいた。高校の先生に頼ってもよい。

⑤ 北海道大学 総合入試理系 合格のE君

- ・過去の栄光（どこを受験した、センター試験の得点率）は捨てなくてはならない。
- ・友達は作らないでよい。2、3人で行動することを心がけた。話しかけてくる人に引きづられないように気をつけた。志の低そうな人に気をつけた。
- ・予備校であろうと恋愛に走る人が少なからずいるのも事実だ。環境が変わって浮かれている場合ではない。
- ・親とのつきあい方にも注意したい。親は心配したり、焦りがちなものだ。一日のスケジュールを約束したり、成績が上がるのに半年ぐらいかかることを理解してもらう必要がある。

⑥ 筑波大学 芸術専門学群 合格のF君

- ・自分に厳しく、自分を管理すること、自分を「俯瞰」できなくてはならない。目標は明確だったのか、最上の努力をしてきたのか等、不合格だったことを自分で客観的に分析できなくてはならない。自分の場合は、現役時代、入試直前で体調を崩したので、その原因を考え、生活の徹底管理、早寝早起きを実行した。

- ・長期（年間）のスケジュール・目標設定と、一日、週単位のスケジュール管理が必要だ。